

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2014/11/21

今日のことは、
 眠る三時間
 前までです。
 ませろ。

どんなことに対してもきちんとけじめをつける。
 自らの玄関を、一歩入った、住居のことは、いまいち、考えないし、家族にも話さない。
 けじめのつけ方が、つまり、人の好例です。自分のなかで、境界線を設ける。自らの玄関を境、界線にして、その内と外では、きり長短の切り替える。これは空間的な境界線であり、時間的にも

平成二十六年十一月二十一日
 第三回
 福田寺
 坐禅修業

西山保育員長組最後の坐禅修業です。みんな五歳以上、よく坐禅組みました。

このプラスマンのころみは大変好評を得て、今回は保護者が多数参加して坐禅の東洋舞をあじわいました。

最近忙しい保護者が時間をとって自分達で積極的に参加すると、身体が大変めがたしいことで、これは大変感謝しました。子供達と一緒にこんな空間



2014/11/21

のとき過ごすことが大切です。



2014/11/21

▲ 福田寺西門



2014/11/21

▲ 東門から望む福田寺の中庭。

この日は、三才、週を思い、お祈り、最後の坐禅、よく頑張りました。



2014/11/21

▼ 保育園保護者の坐禅すばらしい。



2014/11/21

お母さんがげんきでお願いをして、いる場面、子供達もかみでいる、場面、このことが家族で話題になる、ことです。